

銅価高騰による建築用・冷媒用銅管の価格見直し実施

平成18年4月出荷分から最大30%引き上げ

2006.2.22

住友軽金属工業㈱は、定価販売している建築配管用銅管と被覆銅管の価格引き上げを平成18年4月出荷分から実施致します。

銅管の原料である銅地金の相場は、投機資金の流入が加速し、実需と結びつかない騰勢を示しており、ロンドン金属取引所(LME)の公式価格記録の最高値を更新する勢いを保っております。

平成15年には、平均約250円/kgであった国内銅建値も、年末から騰勢を強め、平成16年には、300円台から400円台で推移し、平成17年後半からは、一気に騰勢を強め、12月には600円をつけるに至りました。

この間、定価販売である建築用と被覆銅管については、原料のアップ分を転嫁すべく段階的な価格見直しを実施し、一定の成果は挙げてきたものの、地金高騰のスピードには追いつけず、採算が悪化しております。今年2月に入り、銅建値が650円をつけるに至り、非常事態と位置づけ、緊急避難的に建築配管用銅管の定価改定(引き上げ率30%)と、建築配管用被覆銅管「プリゾール・チューブP」と、冷媒配管用被覆銅管「プリゾール・チューブSF」の10%以上の価格引き上げを実施致します。

以上

お問合せ先：商 務 部 電話03-3436-9800
広報チーム 電話03-3436-9867